

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	甲状腺未分化癌組織における免疫系・遺伝子変異の解析とレンバチニブの治療効果
	研究目的	甲状腺未分化癌組織における免疫系・遺伝子変異の解析とレンバチニブの治療効果を検討すること、新規薬剤やその併用治療の有効性がある症例の推定、さらには有効性のメカニズムを検討する。
	研究対象者	2010年4月から2021年4月に神奈川県立がんセンターで治療を行った甲状腺未分化癌患者47例
	研究期間	西暦 2021年5月7日～西暦 2027年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	山崎春彦
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	乳腺内分泌外科、病理診断科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし